



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）井波 洋
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画部部長 （氏名）坂本 義之 TEL 078-576-8671
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	17,385	4.9	2,401	18.9	1,993	16.2	1,377	12.0
2025年3月期第3四半期	16,569	0.5	2,020	12.1	1,715	16.9	1,230	6.9

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,526百万円（20.7％） 2025年3月期第3四半期 1,264百万円（△2.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	174.14	—
2025年3月期第3四半期	153.17	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	90,413	24,906	27.5
2025年3月期	90,680	23,539	26.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 24,906百万円 2025年3月期 23,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日公表の「2026年3月期 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	22,990	3.9	2,250	12.2	1,650	3.8	1,410	22.6
								178.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,061,566株	2025年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	149,836株	2025年3月期	149,148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	7,912,080株	2025年3月期3Q	8,034,150株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、米国の関税政策や不安定な国際情勢により先行き不透明感が継続し、また物価上昇の影響が長期化するなか、個人消費が停滞する状況で推移しました。こうしたなか、関西地域では大阪・関西万博の開催を背景としたインバウンド需要や関連需要の下支え効果がみられました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は17,385百万円となり前年同期に比べ816百万円（4.9%）増加、営業利益は2,401百万円となり前年同期に比べ381百万円（18.9%）増加、経常利益は1,993百万円となり前年同期に比べ278百万円（16.2%）増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,377百万円となり前年同期に比べ147百万円（12.0%）増加しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、国や自治体の補助制度を活用しながら、軌道の強化や電気設備の更新工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、現在進めております有馬口駅ホームのスロープ化につきましては、下り線が2025年8月に完了し、引き続き上り線の工事を2025年度末の完成を目指して進めております。

営業活動については、有馬温泉への旅客誘致を図るため、「有馬グルメ&湯けむりチケット」等の企画乗車券を発売したほか、企画ハイキングにおいて、山陽電気鉄道、神戸市交通局ならびに西日本旅客鉄道との4社局によるコラボハイキングを開催するなど、旅客誘致に努めました。

また、粟生線活性化の取組として、神戸電鉄粟生線活性化協議会と連携し、沿線の幼稚園や保育所の子どもたちがサンタクロースへの願い事やメッセージを書いたポスター等で装飾した「クリスマス装飾列車」の運行等を実施しました。

神戸市との連携事業では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化を図る「神鉄沿線モウガエ」やアウトドアを通じた地域活性化を図る「KOBE Rail&Trail」を推し進め、当社沿線の魅力発信に努めました。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務の継続的な営業活動を展開するなど、増収に努めるとともに、2025年10月に路線バスのダイヤ改正を実施しました。

タクシー業においては、大阪地域における大阪・関西万博の開催による需要増加に対応したほか、神戸市北区唐櫃台地域において地域コミュニティ交通「からとんくるりんバス」の本格運行の開始や、配車アプリの活用や乗務員の採用に注力するなど、収益の拡大に努めました。また、2025年11月にタクシー運賃の改定を実施しました。

上記の取組のほか、鉄道事業及びバス事業における運賃改定が寄与し、当第3四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は10,591百万円となり、前年同期に比べ820百万円（8.4%）増加し、営業利益は1,712百万円となり、前年同期に比べ525百万円（44.2%）増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、収益の拡大を図るため当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるとともに、2025年4月に大阪府摂津市、2025年9月に東京都葛飾区において新規物件を取得しました。

また、管理受託業務においては、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場（神戸市中央区）」他5施設について、円滑な運営に努めるとともに、2025年4月より新たに神戸市道路公社から「箕谷駐車場（神戸市北区）」の管理運営業務を受託しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,527百万円となり、前年同期に比べ58百万円（3.9%）増加し、営業利益は627百万円となり、前年同期に比べ54百万円（7.9%）減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するとともに、ご当地フェア等の集客策を実施するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、ご好評をいただいている移動スーパー「とくし丸」については、2025年11月から新たに6号車の運行を開始し、引き続き顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業においては各店舗で販売促進策を実施するとともに、飲食業においてはケンタッキーフライドチキン武庫之荘駅前店（兵庫県尼崎市）のリニューアル工事を実施するなど、増収に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の流通業の営業収益は4,039百万円となり、前年同期に比べ18百万円（0.4%）減少し、営業利益は31百万円となり、前年同期に比べ67百万円（68.4%）減少しました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。なお、施設改修調査等のため休業しておりました「御影スイミングスクール（神戸市東灘区）」については2025年12月に閉館しました。

建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

引き続き、当社沿線お客様のニーズに応じたサービスの充実に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のその他の営業収益は2,250百万円となり、前年同期に比べ11百万円（0.5%）増加し、営業利益は13百万円となり、前年同期に比べ25百万円（65.8%）減少しました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ267百万円減少の90,413百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,634百万円減少の65,507百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1,367百万円増加の24,906百万円となり、自己資本比率は27.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、運輸業において、大阪・関西万博開催に伴う行楽需要等による効果や、2025年1月に実施した鉄道事業の運賃改定の寄与等により業績が計画よりも堅調に推移し収益が拡大したこと、また固定資産の売却益が見込まれることなどから、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しております。

なお、セグメント別営業収益及び営業利益の増減につきましては、本日開示しております「2026年3月期 第3四半期決算補足説明資料」をご覧ください。

2026年3月期の通期連結業績予想

（単位：百万円、単位未満切捨て）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
今回発表予想	22,990	2,250	1,650	1,410
前回発表予想	22,770	2,230	1,590	1,110
増減額	220	20	60	300
増減率（%）	1.0	0.9	3.8	27.0

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054	1,523
売掛金	1,586	1,829
短期貸付金	21	19
販売土地及び建物	230	230
商品	120	133
貯蔵品	479	589
その他	1,671	824
流動資産合計	5,163	5,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,114	38,524
機械装置及び運搬具（純額）	4,845	4,513
土地	35,485	35,715
建設仮勘定	404	571
その他（純額）	489	463
有形固定資産合計	80,340	79,788
無形固定資産		
その他	806	745
無形固定資産合計	806	745
投資その他の資産		
投資有価証券	1,824	2,163
長期貸付金	173	162
退職給付に係る資産	1,937	1,993
その他	452	428
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,370	4,729
固定資産合計	85,516	85,263
資産合計	90,680	90,413
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,963	1,079
短期借入金	21,847	20,555
未払法人税等	385	371
前受金	290	475
賞与引当金	51	19
その他	2,784	3,091
流動負債合計	28,323	25,594
固定負債		
長期借入金	32,588	33,705
繰延税金負債	627	795
再評価に係る繰延税金負債	3,559	3,559
退職給付に係る負債	95	85
長期末払金	549	432
長期預り保証金	908	908
その他	488	425
固定負債合計	38,817	39,913
負債合計	67,141	65,507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	9,768	10,987
自己株式	△391	△392
株主資本合計	21,087	22,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739	932
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	1,382	1,382
退職給付に係る調整累計額	330	285
その他の包括利益累計額合計	2,451	2,600
純資産合計	23,539	24,906
負債純資産合計	90,680	90,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	16,569	17,385
営業費		
運輸等営業費及び売上原価	12,621	12,921
販売費及び一般管理費	1,927	2,063
営業費合計	14,548	14,984
営業利益	2,020	2,401
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	38	46
有価証券売却益	36	35
雑収入	96	53
営業外収益合計	172	137
営業外費用		
支払利息	448	515
雑支出	28	30
営業外費用合計	477	546
経常利益	1,715	1,993
特別利益		
固定資産交換差益	425	—
工事負担金等受入額	116	368
特別利益合計	541	368
特別損失		
工事負担金等圧縮額	541	368
特別損失合計	541	368
税金等調整前四半期純利益	1,715	1,993
法人税、住民税及び事業税	373	517
法人税等調整額	111	98
法人税等合計	485	615
四半期純利益	1,230	1,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,230	1,377

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,230	1,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	193
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	△39	△44
その他の包括利益合計	33	148
四半期包括利益	1,264	1,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,264	1,526
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,648百万円	1,655百万円

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,758	1,330	4,048	15,138	1,431	16,569	—	16,569
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	13	138	8	161	808	969	△969	—
計	9,771	1,469	4,057	15,299	2,239	17,539	△969	16,569
セグメント利益	1,187	681	98	1,966	38	2,005	15	2,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額15百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	10,580	1,383	4,027	15,991	1,394	17,385	—	17,385
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	11	144	11	167	856	1,023	△1,023	—
計	10,591	1,527	4,039	16,158	2,250	18,409	△1,023	17,385
セグメント利益	1,712	627	31	2,371	13	2,384	16	2,401

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額16百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。